

新規入場者教育確実に

佐藤渡辺の石井社長  
福島で安全パトロール

佐藤渡辺の石井直孝社長は7日、福島県国見町で施工している舗装工事現場を安全パトロールし、進捗(しんちよく)状況と安全衛生管理活動を確認した。2023年度全国労働衛生週間準備期間の取り組みの一環。現場は一般国道4号

現場をパトロールする石井社長(左から2人目)(報道発表資料から)



伊達拡幅事業の「森山地区舗装工事」(国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所発注)。当日はのり面復旧工事が行われていた。

講評で石井社長は「供用までの間、必要な保安施設を設置し一般車両や歩行者に作業場所を明示してほしい。新規入場者教育をしっかり行い、現場の注意事項を適切に指導して無事故無災害で完成させよう」と述べた。

同行した佐藤透東北支店長は「夜間も電光表示や点滅灯の状況を確認し、一般車両が安全に通行できる状況を確認すべく安全管理を徹底しよう」と呼び掛けた。

